厚生連医誌　第20巻　1号　30～36　2011

原　　著

# 病棟薬剤師配置の成果と今後の課題に関するアンケート調査

上越総合病院、薬剤部；薬剤師[1)]、５階北病棟；看護師[2)]、循環器内科；医師[3)]、
刈羽郡総合病院、薬剤部；薬剤師[4)]

村上　幸恵[1)]、齋藤　葉子[1)]、押見　肇[4)]、徳間　一夫[4)]、
太田紀巳代[2)]、篭島　充[3)]、山本　隆英[1)]

目的：当院薬剤部では、平成20年６月より５階北急性期病棟において、薬剤師１名の１日４時間の専任配置を行い、薬剤管理指導業務を中心とした病棟業務を開始した。その成果と今後の課題について検討したので報告する。
方法：５階北病棟に専任配置されてから１年半が過ぎ、これに対する有用性の評価、今後、１日８時間常駐する必要性について検討するため、アンケート調査を実施した。
成績：専任配置により、患者状態をリアルタイムに把握でき、医師に対して処方支援を行えるようなった。また、薬剤管理指導料が５階北病棟では5.7倍、全病棟総計でも1.5倍増加した。アンケート調査の結果、病棟薬剤師の存在が受け入れられ、病棟薬剤師配置は患者及び病棟スタッフにとって非常に有用であり、今後ますます期待されていることが確認できた。
結論：今後、病棟薬剤師の業務内容の拡大と充実を図っていく必要がある。病棟薬剤師の確保と増員は、患者が期待する質の高いチーム医療を提供し、病院収益にも貢献できると思われる。

キーワード：病棟薬剤師配置、８時間常駐、薬剤管理指導業務、チーム医療、アンケート調査

## 緒　　言

現在、日本薬剤師会は、１病棟（50床規模）に１人の薬剤師配置を主張している。また、病棟薬剤師配置は、診療報酬や診断群分類（DPC）のチーム医療係数において、検討されている。当院薬剤部では、平成20年６月より５階北急性期病棟において、薬剤師１名の１日４時間の専任配置を行い、薬剤管理指導業務を中心とした病棟業務を開始した。その成果と今後の課題について検討したので報告する。

## 対 象 と 方 法

１．５階北病棟の概要（図１）
呼吸器内科、脳神経外科、循環器内科を中心とした急性期病棟で、病床数53床、１ヶ月の延べ入院患者数平均1,524名（平成21年度）である。

２．５階北病棟専任薬剤師のある１日のタイムスケジュール
現在、１日約４時間病棟業務を行っている。午前中は薬剤部にて調剤業務、主に午後から病棟で薬剤管理指導、病棟カンファレンス参加、医師・看護師への情報提供などを行っている。

３．アンケート調査
１）目的
５階北病棟に薬剤師が専任配置（４時間常駐）されたことに対する有用性を評価し、今後、８時間常駐する必要性について検討する。
２）方法
聞き取り調査（無記名アンケート）（図２）
３）対象者・調査期間
１．５階北病棟勤務医師、看護師（38名）・平成22年１月25日
２．薬剤管理指導を行なった５階北病棟入院患者（35名）（図３）・平成22年２月～３月

## 結　　果

１）専任配置により医師に処方支援を行った症例
症例１）薬剤治療モニタリング（TDM）により、バンコマイシン投与量の減量を提案
MRSA 肺炎にてバンコマイシン投与を行ったが、腎機能障害が疑われ、TDM を実施、投与量を1/2に減量することを提案できた（図４）。
症例２）デメクロサイクリンの適応外使用について処方に参画した症例
抗利尿ホルモン不適合症候群（SIADH）と診断された患者に対して、病棟カンファレンスにて、薬剤師が情報提供し、処方が決定した。薬剤師が介入することで、緊急使用薬品の発注・納入がスムーズに行われ、迅速に投与でき、投与開始後、２週間で血清 Na 値が改善した（図５）。自覚症状の倦怠感も消失できた。
２）薬剤管理指導料の収益推移
専任配置により、配置前に比べ、５階北病棟では5.7倍､全病棟総計でも1.5倍収益が増加した。また、全病棟総計の1/2を５階北病棟の収益が占めている（図６）。

3）アンケート結果

1．5階北病棟勤務医師、看護師（図7、表1）

92.1%が薬剤師専任配置により、良くなったと感じており、改善された点としては、薬に対する適切なアドバイスがもらえる、患者の薬についての情報がもらえるなどをあげている。今後、8時間常駐する必要性に関する質問に対しては、94.7%が必要と感じており、その場合に関わってほしい業務として、入院時の持参薬の確認・管理、病棟の医薬品管理、処方支援などをあげている。

2．薬剤管理指導を行なった5階北病棟入院患者（図8、表2）

薬剤師のお薬の説明内容及び接遇に関しては97.1%の患者がとても満足したと回答した。入院中、病棟で薬剤師による服薬指導の必要性、患者のために活動する薬剤師の必要性に関する質問に対しては100%の患者が必要と回答した。

## 考　　察

病棟薬剤師配置による成果として、病棟での業務時間が増加したことで、医師・看護師をはじめ、他職種とのコミュニケーションが円滑かつ密接になり、十分な患者情報に基づく服薬指導の実施が可能となった。患者状態をリアルタイムに把握することで、薬剤処方前または直後にかかわりが持て、安全で効果的な薬物治療の実施に貢献できた。

薬剤管理指導件数が飛躍的に増え、配置前に比べ、5階北病棟では5.7倍、全病棟総計でも1.5倍収益の増加に貢献できた。

アンケート結果より、病棟薬剤師の存在が受け入れられ、病棟薬剤師配置は患者や病棟スタッフにとって非常に有用であり、今後ますます期待されていることが確認できた。

現在は、薬剤管理指導業務を中心としているが、持参薬の確認・管理や病棟の医薬品管理など業務内容の拡大と充実を図っていく必要がある。病棟薬剤師の確保と増員は、患者が期待する質の高いチーム医療を提供し、病院収益にも貢献できると思われる。

## 文　　献

1．前澤佳代子他．なぜ薬剤管理指導を完全実施できないのか？．第16回日本医療薬学会年会講演要旨集，2006；272－7.

2．本間亜紀他．常駐型病棟薬剤師業務の成果と課題．Journal of Niigata Society of Hospital Pharmacists, 2010；118：32－4.

3．日本病院薬剤師会．安心と希望の医療確保ビジョンについて．日病薬誌，2008；44(8)．綴じ込み

4．日本病院薬剤師会 DPC 評価分科会．DPC 病院における薬剤師の病棟業務に関する実態調査（平成21年7月）．結果概要

5．塩野義製薬株式会社解析センター．点滴静注用塩酸バンコマイシン TDM データ薬物速度論的解析支援ソフトウェア Microsoft-Excel 版．VCM-TDM on Excel Ver.3.0x.

## 英　文　抄　録

Original Article

Questionnaire Study of our ward-pharmacist assignment

Jouetsu General Hospital, Department of pharmacy ; Pharmacist[1)], Fifth-floor Northen ward ; nurse[2)], Cardiovascular internal medicine ; Internist[3)], Kariwa-gun General Hospital ; Department of pharmacy ; Pharmacist[4)]
Yukie Murakami[1)], Yoko Saito[1)], Hazimu Osimi[4)], Kazuo Tokuma[4)], Kimiyo Ohta[2)], Mituru Kagosima[3)], Takahide Yamamoto[1)]

Purpose : Clinical pharmacy services to inpatients has been done in our Fifth-floor Northen ward from June, 2008. The result was studied with a questionnaire method and a future problem was discussed in this report.

Method : A questionnaire evaluation was done for 35 inpatients and 38 staffs in this ward of change by ward-pharmacist assignment and full-time assignment necessity.

Results : A ward-pharmacist could recognize a patient state in real time and support a doctor in prescriptions. Charges of clinical pharmacy services increased 5.7times, in the Fifth-floor Northen. As a result of questionnaire study, the ward-pharmacist was very useful, for both in patients and the ward staffs.

Conclusion : It is necessary to improve the clinical pharmacy services as the ward-pharmacist assignment, which bring both the high quality of team medicine that a patient expects, the hospital profit.

Keyword : ward-pharmacist placement assignment, full-time assignment, clinical pharmacy services to inpatients, team medicine, questionnaire study

表１　アンケート結果（勤務医師、看護師）

Q 病棟に薬剤師がいることで、どのような点が改善されたと思いますか？（複数回答）

| | |
|---|---|
| 薬に対するアドバイスがもらえる | 78.9% |
| 患者様の薬についての情報がもらえる | 68.4% |
| 看護業務への集中度が向上した | 23.7% |
| 調剤室（または病棟）からの問い合わせの電話が減った | 18.4% |

Q 薬剤師が今後、１日（８時間）常駐した場合に関わってほしい業務がありますか？

| | |
|---|---|
| 持参薬の確認・管理 | 89.5% |
| 病棟の医薬品管理 | 78.9% |
| 処方支援 | 55.3% |

その他（薬剤管理指導の拡充、抗がん剤のミキシング、看護師に対する薬の勉強会の開催）

表２　アンケート結果（入院患者）

Q 薬剤師による服薬指導をうけていかがでしたか？

| | |
|---|---|
| 自分の飲んでいる薬のことがわかってよかった | 85.7% |
| 今までの疑問点や気になっていたことがわかってよかった | 51.4% |
| 副作用や日常生活で注意すべきことがわかり、毎日きちんとお薬を飲むことが重要であることを再認識した | 48.6% |

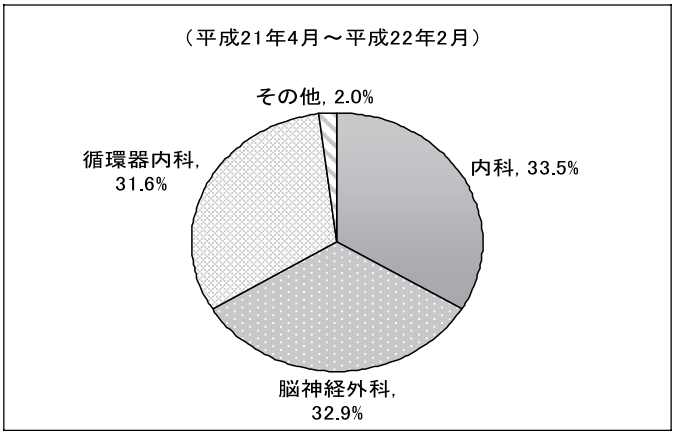



図１　診療科別患者割合

病棟専任薬剤師配置に関する意識調査

■ 5階北病棟に勤務する医師、並びに看護師の方にお聞きします。

1. あなたの職種は何ですか？

医師（　　）　　診療科名（　内科　・　循環器内科　・　脳神経外科　・　神経内科　）

看護師（　　）　チーム名（　　A　・　B　）

2. 薬剤部では、平成20年6月より、薬剤師1名の専任配置（4時間常駐）を行いました。

常駐後、どのように変わりましたか？

（平成20年6月以降に5北に勤務された方は現在の印象で結構です。）

①とても良くなった（　　）

②少し良くなった　（　　）

③あまり変わらない（　　）

3. 病棟に薬剤師がいることで、どのような点が改善されたと思いますか？　（複数回答可）

①薬に関する適切なアドバイスをもらえる（　　）

②薬品関連のインシデント・アクシデントが減った（　　）

③調剤室（又は病棟）からの問い合わせの電話が減った（　　）

④処方設計の支援をしてもらえる（　　）

⑤患者様の薬についての情報がもらえる（　　）

⑥看護業務への集中度が向上した（　　）

⑦その他（　　）

4. 今後、病棟に1日（8時間）常駐する薬剤師が必要と考えますか？

①必要と感じる（　　）

②あまり感じない（　　）

5. 薬剤師が今後、1日（8時間）常駐した場合に関わってほしい業務がありますか？

①患者様への薬剤の配薬業務（　　）　（複数回答可）

②注射薬の混注業務、ＩＶＨ調製業務（　　）

③持参薬の確認、管理（　　）

④処方支援（　　）

⑤病棟の医薬品管理（　　）

⑥その他（　　）

病棟薬剤師についてのアンケート調査

■ 5階北病棟に入院されている患者様にお聞きします。（ご家族でも結構です。）

1. あなたの年齢・性別について教えてください。〔該当する部分に○〕

年齢　～30歳代（　）　40歳代（　）　50歳代（　）　60歳代（　）

70歳代（　）　80歳以上（　）

性別　（男　・　女）

2. 薬剤師によるお薬の飲み方や効能などについての説明に納得（満足）されましたか？

①とても満足した（　　）

②少し満足した　（　　）

③あまり満足していない（　　）

3. 薬剤師の言葉遣い、態度、身だしなみに満足されましたか？

①とても満足した（　　）

②少し満足した　（　　）

③あまり満足していない（　　）

4. ご本人・ご家族からの相談・質問に対する応対はいかがでしたか？

①とても満足した（　　）

②少し満足した　（　　）

③あまり満足していない（　　）

5. 薬剤師による服薬指導をうけていかがでしたか？　（複数回答可）

① 自分が飲んでいる薬のことがわかってよかった　（　　）

② 今までの疑問点や気になっていたことが解決できた　（　　）

③ 毎日、きちんとお薬を飲むことが重要であることを再認識した　（　　）

④ 副作用や日常生活で注意すべきことがわかってよかった　（　　）

⑤ その他　（　　）

6. 入院中、病棟での服薬指導は必要だと思いますか？

①必要であると思う（　　）

②必要ないと思う　（　　）

7. 病棟で入院中の患者様のために活動する薬剤師は必要だと思いますか？

①必要であると思う（　　）

②必要ないと思う　（　　）

図2　アンケート用紙

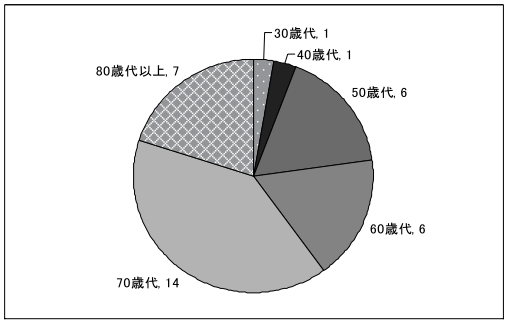



図３　５階北病棟入院患者回答者内訳

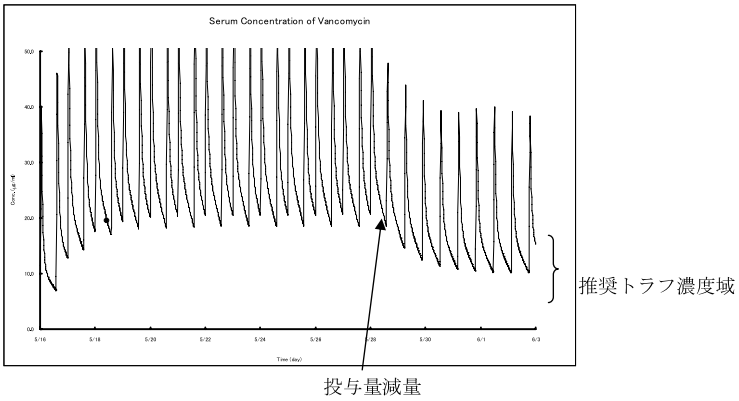



図４　（症例１）血中濃度推移グラフ

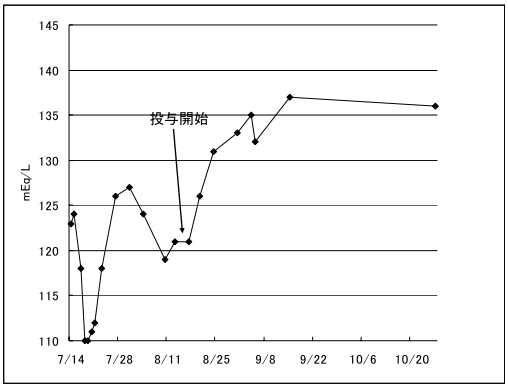



図５　（症例２）血清 Na 値

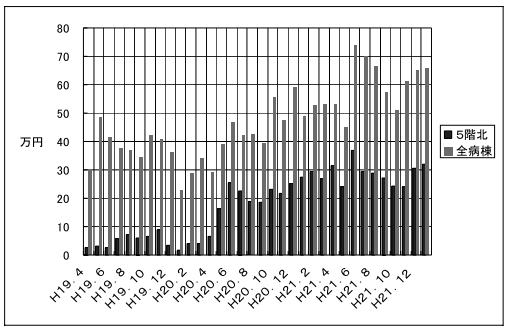
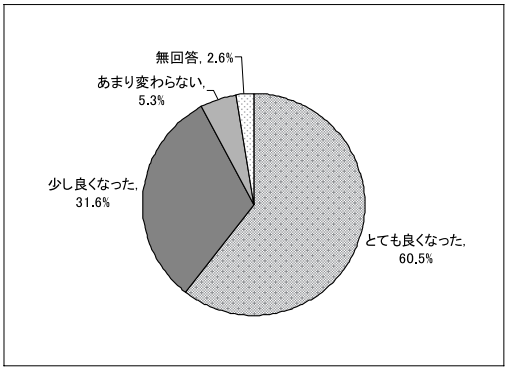



図６　薬剤管理指導料の収益推移

Q 薬剤師専任配置により、どのように変わりましたか？




Q 今後、病棟に１日（８時間）常駐する薬剤師が必要と考えますか？

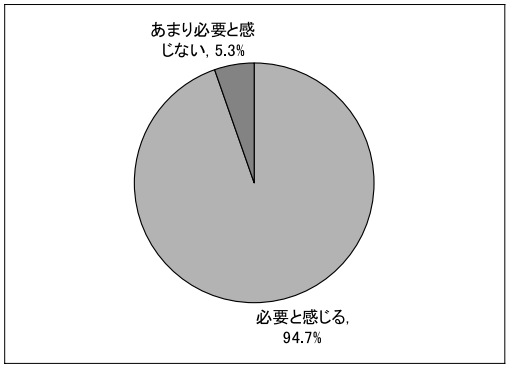
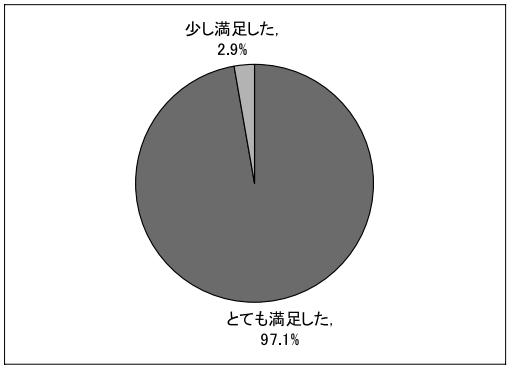
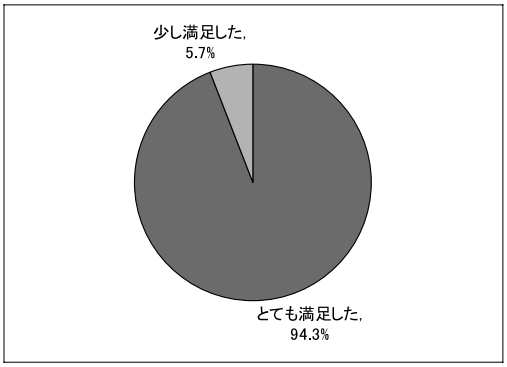



図７　アンケート結果（勤務医師、看護師）

Q 薬剤師によるお薬の飲み方や効能などについての説明に納得（満足）されましたか？
Q 薬剤師の言葉遣い、態度、身だしなみに満足されましたか？




Q ご本人、ご家族からの相談・質問に対する応対はいかがでしたか？




Q 入院中、病棟での薬剤師による服薬指導は必要だと思いますか？
Q 病棟で入院中の患者様のために活動する薬剤師は必要だと思いますか？

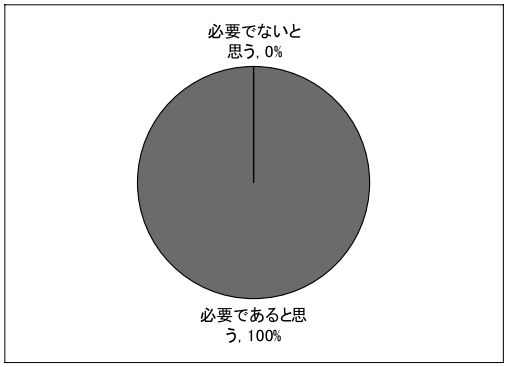



図８　アンケート結果（入院患者）

2010／11／30　受付（2011－16）